

福島原発事故調査委員会報告

事故の真相と、原因の背景

-The Report of Investigation Committee on the Accident at the Fukushima Nuclear Power Stations-
The Truth and the Background of the Accident

淵上 正朗
Masao Fuchigami

株式会社小松製作所 顧問、工学博士
Komatsu Ltd. Adviser, Dr. Engineering

日時: 2012年11月22日(木) 14:50-16:30
会場: 東京大学工学部2号館2階223号講義室
授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3722-130)

要旨

政府・福島原発事故調査委員会に技術顧問として参画した。その調査結果の概要を、技術面を中心に報告する。

- ・3月11日～16日の間、現場ではどのような事故対応が行われていたのか？
- ・もしそれが“理想的”なものであったら、過酷事故を防ぐことはできたのか？
- ・日本の原発は、海外より安全対策は進んでいたのか？
- ・地震大国・日本で、津波高さはなぜ過小に見積もられてしまったのか？
などについて、考える。



主催: 東京大学 グローバルCOEプログラム「機械システム・イノベーション国際拠点」(GMSI)
東京大学 実践型リーダー養成事業「イノベーションリーダー養成演習」(PCIL)

本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科 機械工学専攻 教授 中尾 政之
GMSI事務局: E-mail: gmsi-office@mechasys.jp Phone: 03-5841-7437